

# バージョンアップガイド



Version11.3x

## 【 も く じ 】

1. バージョンアップ作業の前に ～必ずお読み下さい～ …… 1
2. 作 業 手 順 …… 2
3. ef / Bitz / P's 新バージョンのインストール …… 3
4. コンバート作業（新バージョンへの変換） …… 6

# 1. バージョンアップ作業の前に ~必ずお読み下さい~



Version11.3x へのバージョンアップを行います、efを例に説明していますが、Bitz、P's も作業手順は共通です。バージョンアップによる注意点は、下記の通りです。必ずお読み下さい。

■バージョンは、・・ を Version11.3x に揃えて下さい。

見積物件、マスターをサーバーで管理し、共有でご利用の場合は、ご使用になっている全てのソフトを Version11.3x へバージョンアップしてください。

■必ず、ガイドに沿って操作して下さい。


■インストールやプログラムの削除作業を行うには、Administrator の権限が必要です。

インストールやプログラムの削除作業が行えない場合は、まずパソコン起動時のユーザーが Administrators グループに所属しているかをご確認下さい。

## ■インストール・アンインストール実行時のメッセージについて

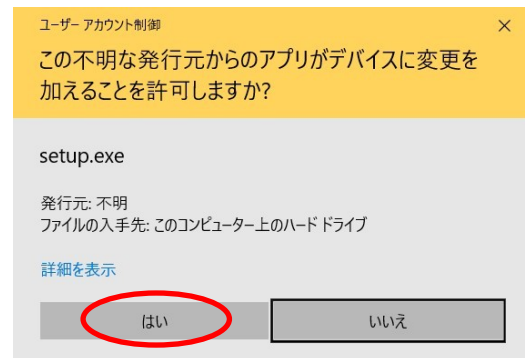
インストールやアンインストール実行時、  
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



 右画面が表示されるので「はい」をクリックします。

環境によっては「キャンセル」「許可(A)」の  
選択表示が出ます。

「許可(A)」をクリックしてください。



以上

## 2. 作業手順

① インストール前に ef / Bitz / P's の終了



② 新バージョン (Version11.3x) のインストール



コンバート作業 (P. 6)

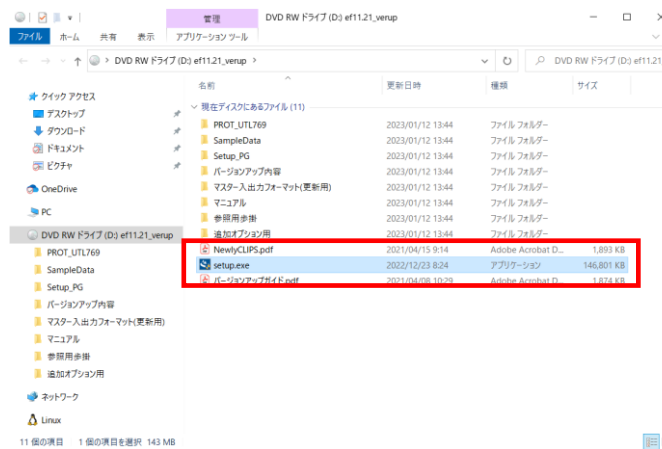
**【注意】** 物件・マスターを共有でご利用の場合は、  
全ての ef / Bitz / P's のバージョンアップが終わってから実行して下さい。  
旧バージョンでの ef / Bitz / P's では利用できなくなります。

### 準備するもの

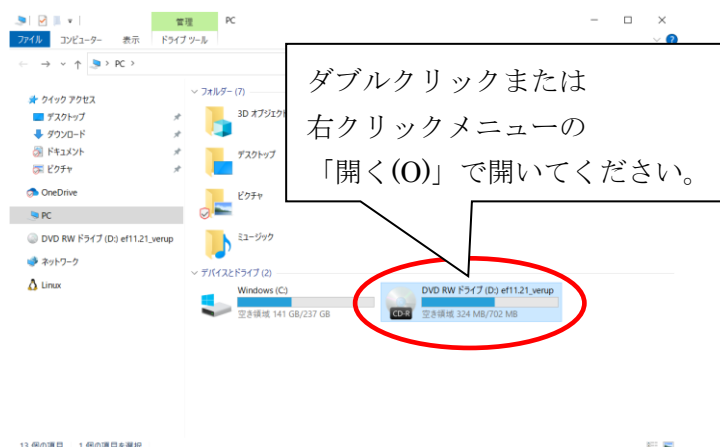
・ PLANEST ef (Bitz or P's) Version11.3x 製品インストーラー「setup.exe」ファイル

「setup.exe」ファイルは、インストール CD の中に入っております。

PC にインストール CD を挿入し、エクスプローラーで CD の内容を表示すると確認出来ます。



※自動で CD の内容が表示されない場合は手動で表示させてください。



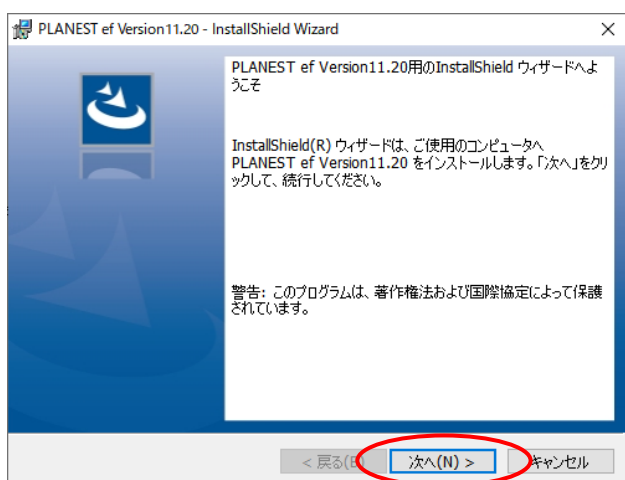
### 3. ef・Bitz・P's 新バージョンのインストール

---

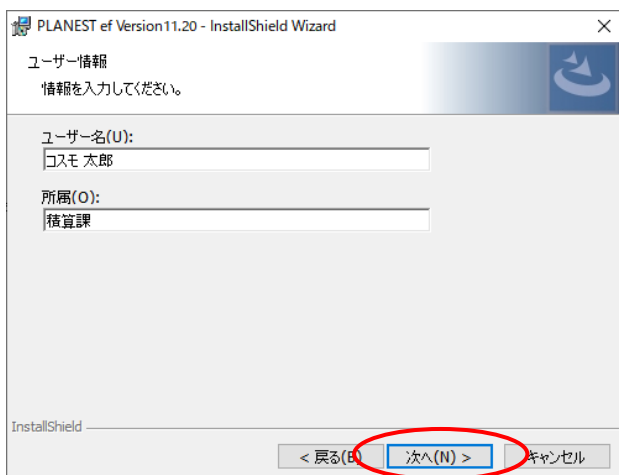
1. インストールの前に現在 ef を開いている場合は閉じます。
2. 「setup.exe」ファイルをダブルクリックします。



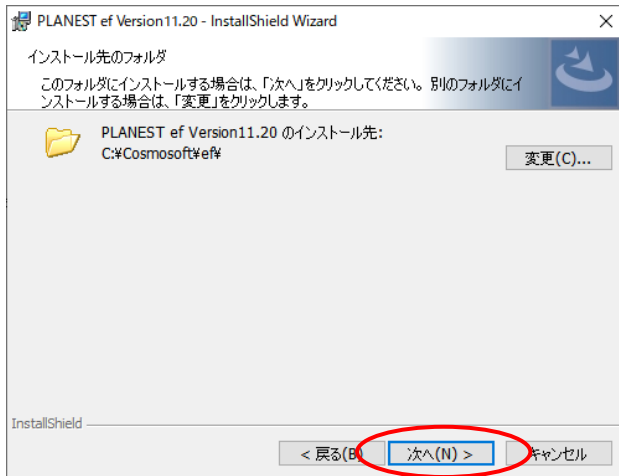
3. しばらくするとインストーラーが起動します。  
「PLANEST ef Version11.3x 用のInstallShield ウィザードへようこそ」とメッセージが出ます。  
内容を確認し、次へ(N) をクリックします。



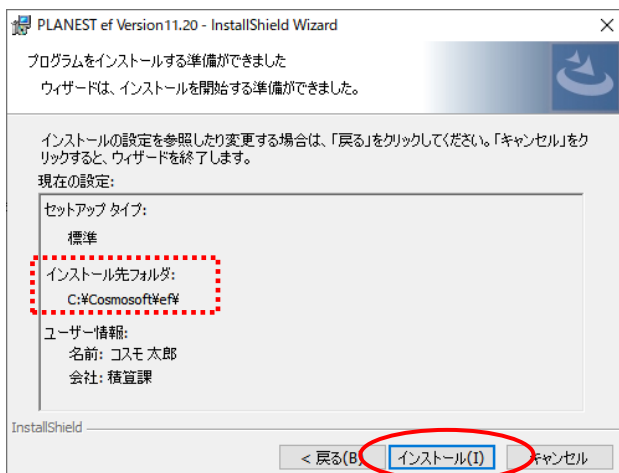
6. 「ユーザー情報 情報を入力して下さい。」とメッセージが出ます。  
利用者情報を入力するか、不要であれば空欄のまま、次へ(N) をクリックします。



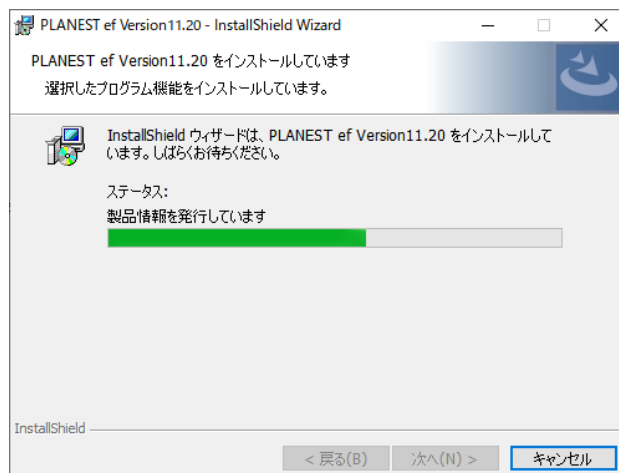
7. 「インストール先のフォルダ」とメッセージが出ます。  
efをインストールするフォルダを指定し、 **次へ(N)** をクリックします。  
※標準では、[C:¥Cosmosoft¥ef¥]です。  
※フォルダを変更していた場合は、 **変更(C)** をクリックして、今までと同じ場所に変更して下さい。



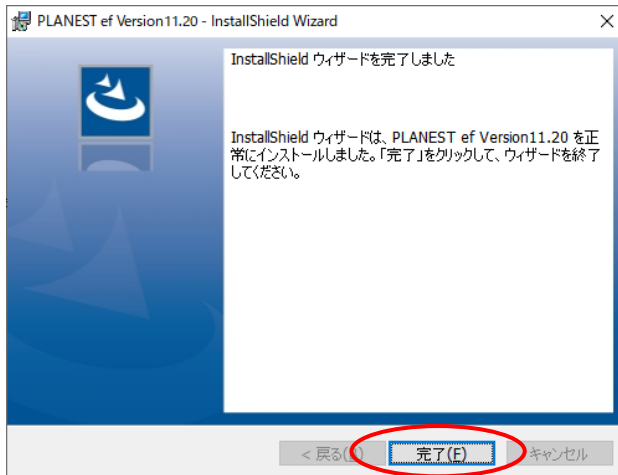
8. 「プログラムをインストールする準備ができました」とメッセージが出ます。  
「インストール先フォルダ;C:¥Cosmosoft¥ef¥」を確認し、インストール(I) をクリックします。  
(※手順7.で変更した場合は、指定したフォルダになります。)



9. 「PLANEST ef Version11.3x をインストールしています」とメッセージが出ます。

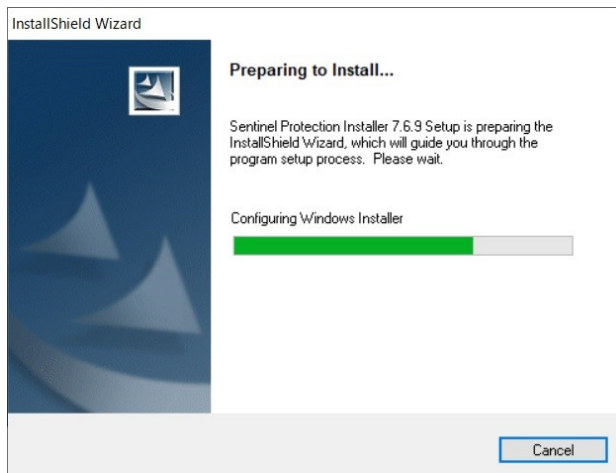


10.「InstallShield ウィザードを完了しました」とメッセージが出ますので、完了(F) をクリックします。

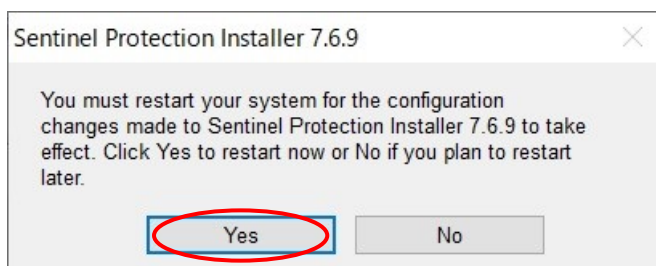


11.続いて、プロテクトドライバーが自動でバージョンアップされます。

※「setup\_pg.exe」でインストールした場合はプロテクトドライバーのバージョンアップはありません。



※パソコンの再起動を促す下記メッセージが出た場合は、Yes をクリックして再起動させます。



以上で「3. ef / Bitz / P's 新バージョンのインストール」の作業は終了です。

## 4. コンバート作業(新バージョンへの変換)

Version11.3x ではマスターや物件の構造が変わったため、旧バージョンのマスターや物件をコンバートする必要があります。


### 【ご注意！】物件、マスターを共有でご利用の場合

全ての ef / Bitz / P's のバージョンアップが終わってから実行してください。

旧バージョンの ef / Bitz / P's では利用できなくなります。



バージョンアップ直後に ef を立ち上げた場合や、バージョンアップ後に過去の物件を開いた場合に、「データベースの変換」という画面が表示される場合があります。

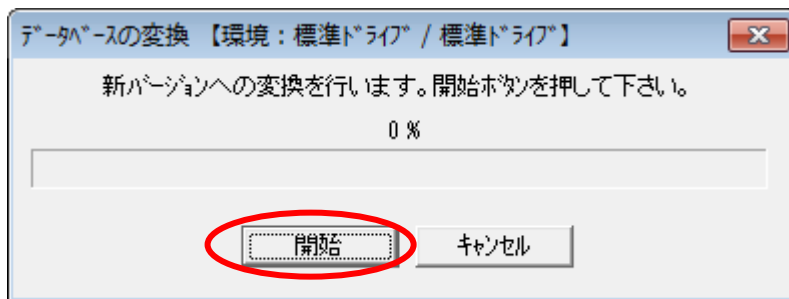
表示された場合は、[開始]ボタンをクリックしてデータベースの変換を実行してください。

1. デスクトップにあるアイコン  [PLANEST ef (Bitz or P's)Version11.3x] をダブルクリックします。

2. 下記のようなデータベース変換画面が開きます。

【開始】ボタンをクリックして、データベースの変換を実行します。

Bitz →  P's →   
と置き換えて下さい。



⚠ 「データベースの変換」画面は、【環境設定】に設定されているタブの数だけ表示されます。  
(保存ドライブを除く)

1つの環境での変換が完了したら、次の環境の「データベースの変換」画面が表示されますので、【開始】ボタンをクリックして、変換を実行します。





3. バージョンアップ内容ダイアログが開きます。

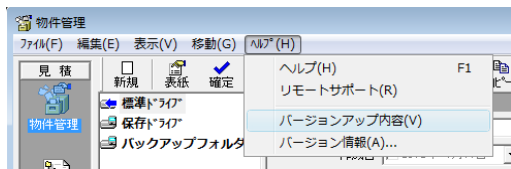
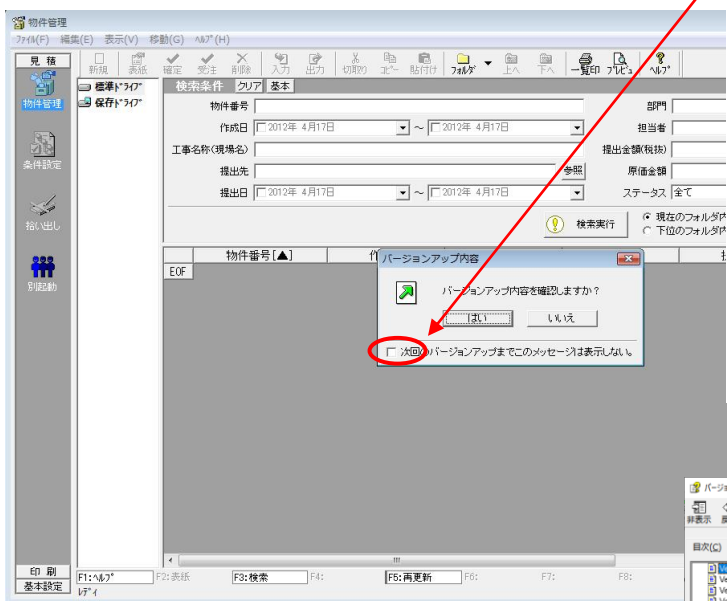
必要に応じてバージョンアップ内容を確認して下さい。

！次回からバージョンアップ内容の画面を表示

させない場合は画面左下のチェックを入れて下さい。

チェックを入れてもバージョンアップ内容は、いつでも確認できます。

ef (Bitz or P's)を起動し、物件管理画面の左上のメニューバー「ヘルプ」をクリックし、メニュー「バージョンアップ内容」をクリックすれば下と同じ画面が開きます。



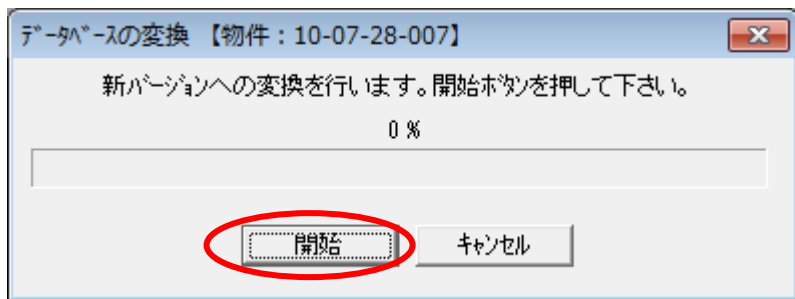
画面左には、これまでのバージョンが表示しています。クリックすると内容を確認できます。



物件を開く時

バージョンアップ後に、物件管理で過去の物件を開こうとした時に、下記のようなデータベースの変換画面が表示されます。

【開始】 ボタンをクリックして、データベースの変換を実行します。



！ 物件は、1物件ずつのコンバート作業になります。全ての物件のコンバート作業を行わなくてもいつでも可能です。旧バージョンの物件を選択すると必ず変換画面が開きます。

以上で ef / Bitz / P's Version11.3x へのバージョンアップが完了しました。  
お疲れ様でした。